

南山大学社会倫理研究所シリーズ懇話会

「脳科学ブームを考える」

第1回懇話会

「『ゲーム脳』に見る、ニセ科学の広まり方」

府元晶（フリーライター）



「脳を鍛えるトレーニング」、「脳によい食べ物や習慣」、「脳がわかると異性がわかる」…

近頃は、脳にまつわる情報がメディアをにぎわせています。しかし、このような情報は、どの程度信頼できるのでしょうか。われわれは、信頼できる情報と、そうでない情報を、どのように見分ければよいのでしょうか。また、脳科学者は、現在の脳科学ブームについて、どう考えているのでしょうか。このシリーズ懇話会では、それぞれ異なる立場の3人のお話しを手がかりに、科学技術と社会の関係について考えていきます。

第1回は、ゲーム脳理論への批判を積極的に展開されている、ゲームライターの府元晶さんをお招きして、ゲーム脳問題の実態についてお話しいただきます。

日時 2010年5月21日（金） 17時00分より

会場 南山大学名古屋キャンパスJ棟1階特別合同研究室（Pルーム）

*参加申込不要です。学生、一般の方々の参加も歓迎です。

今後の予定：

第2回 6月5日（土） 16時から「脳ブームの正体」藤田一郎（大阪大学大学院生命機能研究科教授）

第3回 6月11日（金）17時から「インチキ科学にだまされないために

—批判的思考力と科学リテラシーとを身につける」楠見孝（京都大学大学院教育学研究科教授）

*この件に関するお問い合わせは、南山大学人文学部（社会倫理学研究所第二種研究所員）鈴木貴之(takayuki@nanzan-u.ac.jp)までお願いします。

*この懇話会は、科学技術基礎論学会柿内賢信記念奨励賞による研究プロジェクト「ポピュラー脳科学の実態の分析と脳科学リテラシーの可能性にかんする研究」の一部です。